

とうほく街道会議

第10回交流会 関山街道フォーラム

平成26年

とき **11月14日(金)~15日(土)**

ところ 作並温泉 鷹泉閣 岩松旅館 仙台市青葉区作並字元木16番地

関山街道

仙山線

「土の道」と「鉄の道」から宮城・山形の明日を考える



関 書内「追憶〜その1」より(仙台市歴史民俗資料館蔵)

関書内(明治44年~平成2年)は、堤人形の絵付け職人である。書集「追憶(おもいで)」(昭和50年)は、失われていく風景や伝説への郷愁から、堤焼と堤人形の製作工程と販売や江戸・明治・大正の境界線の記憶を描いた絵と説明文の構成である。「その1」の「関山峠」には、つづら折れの峠道を木箱と轡や鉢を大八車に運ぶ様子が描かれている。説明文には、明治15年の関山隧道等の完成により、「昔の山越へは救われたものの依然として旅する人は悪路と峻険な峠に悩まされていた。堤焼とおひなこ(堤人形)の行商を続けた堤の人々は、この難所に荷物を満載した大八車を引へて越えたのだ」と堤焼が険しい峠を越えて山形方面にも行商していたことを記している。



今も残る関山峠「傾き三三三」。残雪の季節は鮮明に。



高橋由一「三島県令道路改修記念面談」より。
関山隧道東口(宮城県側)(山形大学附属博物館蔵)



昭和30年代の作並駅駅舎 PHOTO: 亀谷英理
(東北福祉大学・鉄道交流ステーション蔵)



仙山線が跨る日本一高いトレスル橋「第2広瀬川橋梁」。構造の美しさが目を引く。PHOTO: 瀧澤 晃

主催: とうほく街道会議第10回交流会 関山街道フォーラム実行委員会

関山街道フォーラム協議会、みやぎ街道交流会、みやぎ仙台商工会、作並温泉旅館組合、定義観光協会、(公財)仙台観光コンベンション協会宮城支部、宮城県内町内会長連絡会【オブザーバー】仙台市、宮城県、山形県、東北地方整備局

共催: とうほく街道会議、(社)土木学会東北支部

後援: あおりかいどう会議、出羽の古道六十里越街道会議、越後米沢街道十三峠交流会、ふくしまけん街道交流会、羽州街道交流会、東北みち会議、あきた山の学校、全国街道交流会議、JR東日本仙台支社

河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、(株)仙台放送局、TBC 仙台放送、TBC 東北放送、K-43 東日本放送、ミヤギテレビ、エフエム仙台

協力: 東北福祉大学鉄道交流ステーション 支援: (社)東北地域づくり協会

問い合わせ先: 「とうほく街道会議第10回交流会 関山街道フォーラム」実行委員会事務局 TEL: 080-3322-1966

とうほく街道会議

関山街道

仙山線

「土の道」と「鉄の道」から
宮城・山形の明日を考える

第10回交流会 関山街道フォーラム プログラム

11月14日(金) 鷹泉閣 岩松旅館

交流会 第一部「フォーラム」13:00~17:00(参加費無料)

◆オープニングセレモニー 13:00~13:50

主催者挨拶 関山街道フォーラム実行委員会 委員長 工藤 秀也
とうほく街道会議 会長 藤原 優太郎

来賓挨拶

特別企画 土木学会選奨土木遺産「仙山線鉄道施設群」授与式

◆基調講演 14:00~15:00 (定員200名)

「歴史に見る街道と地域 -関山街道と奥州街道-」

講師: 平川 新氏(宮城学院女子大学 学長・関山街道フォーラム協議会 会長)

ヒトが歩き、モノを運んだ街道は、ヒトとヒトの交わりの場となり、地域と地域をつなぐ大動脈となりました。しかし街道は、もっと多面的な役割を果たしていました。東日本大震災を経験することによって見えてきた街道がもつ意義について、関山街道や奥州街道などを事例に、新しい視点から考えてみたいと思います。

◆分科会(パネルディスカッション) 15:20~17:00

【土の道分科会】(定員100名)

「関山隧道の果たした役割と今後の仙山交流について」

多くの道路整備を進め土木県令と呼ばれた山形県令の三島通庸(みちつね)を取りあげ、関山隧道開鑿(かいさく)が仙山交流に果たした役割や関山街道を通じた今後の更なる仙山交流に向けた方策について語り合ってください。

コーディネーター: 宮原 育子氏(宮城大学事業構想学部 教授)

パネリスト: 小形 利彦氏(歴史家・日本大学 講師)

阿部 公一氏(万世大路研究会 代表・
(株)ネクスコ・エンジニアリング東北 常務取締役)

山田 浩久氏(山形大学大学院社会システム研究科 教授)



郷六城跡入口の
「建武の碑」(1336年)

【鉄の道分科会】(定員100名)

～交流電化試験60周年・新幹線開業50周年
土木学会 選奨土木遺産認定記念フォーラム～

「仙山線の魅力とその利活用方策について」

仙山線の選奨土木遺産認定に向けた地域での活動や沿線の魅力の紹介をもとに、取り組みの現状、問題点・課題を踏まえながら、地域再生の利活用方策について多角的な視点から語り合ってください。

コーディネーター: 星山 幸男氏(東北福祉大学総合福祉学部 教授)

パネリスト: 加藤 榮一氏(関山街道フォーラム協議会 鉄の道部会長)

山下 英一氏(東北芸術工科大学デザイン工学部 教授)

米山 淳一氏(地域遺産プロデューサー、元(財)日本ナショナルトラスト 事務局長)

アドバイザー: 後藤 光亀氏(東北大学大学院工学研究科 准教授)

特別ゲスト: 小野田 滋氏((公財)鉄道総合技術研究所 情報管理部長)



東北大学植物園内の「最上古街道」



宮分郷鎮守一宮「諏訪神社」



赤生木石垣家の街道脇の古碑群



道平の古街道



坂下御番所跡と「関山街道開鑿殉難之地」の碑

街道パネル展(ホテル内会場)

(12:00~17:00)

関山街道フォーラム協議会や東北各地の街道関係団体の活動紹介および国道48号線雪防災パネルなどを展示します。

交流会 第二部「街道談義」(定員50名) 17:30~19:30(参加費4,000円)

郷土料理や地酒による交流会



新川の「ほととぎす塚」



定義山参詣道の古碑群



定義如来西方寺貞徳堂



平成26年3月に市民の力で発掘された作並駅転車台



交流電化機関車の試験運転開始を記念して、昼休み時間を利用してながらゴツゴツと石碑を彫る作並機関区長・道藤四郎氏。
PHOTO: 松野匡雄
(東北福祉大学・鉄道交流ステーション蔵)



四季折々の自然が魅力の仙山線

11月15日(土)

探訪会 (小雨決行)

受付 8:45～

【土の道: 定義如来への落人伝説コース】(定員40名)

参加費	3,000円(バス代、保険代、資料代、昼食代を含む)
集 合	仙台市広瀬市民センター(仙台市青葉区下愛子字観音堂5)
コース	[9:15] 仙台市広瀬市民センター～ほととぎす塚(新川)～熊ヶ根城跡～仙台市水道記念館(トイレ休憩)～捻木道・大手門～小倉神社～大倉ダム～赤門～大倉ふるさとセンター(昼食)～古碑群(滝ノ上旧バス道交差点)～定義如来西方寺～仙台市広瀬市民センター [15:00]

【鉄の道: 仙山線の鉄道遺産コース】(定員40名)

参加費	1,500円(資料代、保険代、昼食代を含む) ※JR運賃除く。
集 合	作並湯の駅 ラサント(仙台市青葉区作並元木2-7)
コース	[9:15～10:00] 作並湯の駅ラサント・パネル展「新幹線は仙山線から始まった」見学※～作並駅交流電化発祥記念碑・転車台(遠望)～[10:48作並駅発～11:09山寺駅着]～山寺駅転車台～昼食～立石寺・根本中堂参拝～山寺駅解散 [14:45]

※立石寺奥の院拝観は希望者のみ(有料)。

土の道 topix

関山街道がいつ開かれたかを示す史料はないが、天正年間(1580年代)に天童城主が関山峠を越え愛子に落ち延びた記録がある。熊ヶ根には天正16(1588)年に「町屋敷」があり、戦国時代に国分氏の家臣が館を構え、周辺に町場があったと思われる。また、熊ヶ根の西側には関所が設けられていたといわれ、江戸時代以前も人と物の移動があったことになる。

江戸時代になると、慶長から元和年間にはすでに愛子、熊ヶ根、作並の宿があったが、関山峠を越えると関山村の間屋の他は、天童まで宿駅のあった形跡はなく、脇街道のためと思われる。この街道は、仙台からは関山越最上街道、山形からは関山越仙山街道とも呼ばれており、関山峠部分は「嶺渡り三里」といわれ牛馬も通れない困難な道であった。

鉄の道 topix

仙山線は、仙台～山形の2都市を結びながらも、58kmの短い距離の中に急こう配のある起伏に富んだ地形と、豊かな自然を備えた貴重な路線。日本一高いトレスル橋(第2広瀬川橋梁)や、車窓に映る田園や山岳風景も魅力も添える。大正期に計画され、仙山東線・仙台～愛子間が昭和4年、愛子～作並間が昭和6年に開通し、仙山西線(山形～山寺間)が昭和8年に開通。残る作並～山寺間については、難工事の末の仙山隧道(トンネル)貫通により昭和12年に全線開通となった。その際、5,361mという長大なトンネルのために作並～山寺駅間は当初から直流電化されている。トンネル内に信号所、作並・山寺両駅に転車台があるのもそのためだ。

これら路線環境は、日本の鉄道電化促進に向けての「交流電化試験区」を引き寄せた。昭和29年～32年、作並機関区における交流電化試験から多くの成果が得られた。その技術は、昭和39年開業の東海道新幹線の礎として開花していくのである。

※ 作並駅交流電化試験60周年・新幹線開業50周年・選奨土木遺産認定記念 パネル展
“新幹線は仙山線から始まった” (入場無料)

開催期間/平成26年11月7日(金)～12月23日(火・祝)
9:00～17:00

会 場/作並湯の駅ラサント

主催/作並温泉旅館組合

展示内容/・交流電化試験の紹介
・その後の発展的試験
・新幹線開発につながった技術発展

共催/東北福祉大学鉄道交流ステーション、関山街道フォーラム協議会

参加の申込み 締め切り期限: 11月7日(金)

「参加申込書」に記入の上、郵便、FAXまたはEメール(PDFファイル添付)にてお申し込みください。

●郵送・FAXの場合

〒989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂5 仙台市広瀬市民センター内
「関山街道フォーラム実行委員会」あて
FAX.022-392-8410

●Eメールの場合[E-mail] touhoku_kaidou@yahoo.co.jp

※とうほく街道会議ホームページの

入力フォームからも申し込みができます

とうほくの街道

検索



会場案内図

無料送迎バスについて

- ◆行き①…JR作並駅発12:10～主会場(岩松旅館)着12:20
- ◆帰り②…会場発17:15～JR作並駅(仙台方面行)17:38・(山形方面行)17:38
- ◆帰り③…会場発19:50～JR作並駅(仙台方面行)20:18・(山形方面行)20:18

会場のご案内

作並温泉 鷹泉閣 岩松旅館

TEL:022-395-2211(代) FAX:022-395-2020

〒989-3431 仙台市青葉区作並字元木16

- JR仙台駅から作並駅まで約40分(仙山線)

※作並駅より岩松旅館の送迎バス有り

- バス仙台駅より市営バス作並温泉行きで約60分
(仙台駅西口バスプール10番乗り場より)

- 東北自動車道仙台宮城ICより国道48号を車で約25分

関山街道フォーラム実行委員会事務局あて

申し込み日 月 日

「とうほく街道会議第10回交流会 関山街道フォーラム」参加申込書

□の項目はいずれかに✓をお付けください。

ふりがな			生年月日(旅行保険加入のため)	
氏名	□男 □女	□大正 □昭和 □平成	年	月 日
住所	〒 -			
電話			FAX	
E-mail	@			

内容項目	参加費等	参加内容等	備考
交流会 第一部「フォーラム」に参加しますか	無料	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ 募集定員 200名
どの分科会に参加しますか		<input type="checkbox"/> 土の道	<input type="checkbox"/> 鉄の道 募集定員 各100名
交流会 第二部「街道談義」に参加しますか	4,000円	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ 募集定員 50名
1日目の会場「岩松旅館」への往復交通手段は何ですか	<input type="checkbox"/> 自分で (車・市営バス等)	作並駅⇄会場 送迎バス利用 (無料)	<input type="checkbox"/> 行き① JR作並駅発12:10(⇒会場) <input type="checkbox"/> 帰り② 会場発17:15(⇒JR作並駅) <input type="checkbox"/> 帰り③ 会場発19:50(⇒JR作並駅)
「岩松旅館」に宿泊を予約しますか (朝食付き・相部屋)	7,000円	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ ※個室希望の方は直接旅館にお申し込みください。
探訪会(土の道)に参加しますか	3,000円	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ 募集定員 40名
探訪会(鉄の道)に参加しますか	1,500円	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ 募集定員 40名
宿泊者の方で探訪会集合場所まで車への同乗あっせんを希望しますか	<input type="checkbox"/> 希望しない	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 土の道 <input type="checkbox"/> 鉄の道

※街道談義参加費、宿泊費、探訪会参加費は、当日会場受付にて申し受けます。(街道談義及び探訪会は定員になり次第締め切り致します)

※参加キャンセルは、11月7日(金)まで申込先(事務局)にご連絡ください。期日を過ぎてからのキャンセルは受けかねますのでご了承ください。

※上表備考欄の時間帯以外にもJR作並駅から岩松旅館の無料送迎バスが運行されていますので、ご利用できます。

※1日目の昼食ご希望の方へは、受付にて会場及び周辺の食堂をご案内いたします。「とうほく街道会議」HPにも案内マップを掲載します。

※今回ご記入いただいた個人情報については、とうほく街道会議事務局が責任を持って管理し、当該の目的以外には使用いたしません。

お問い合わせは… 「とうほく街道会議第10回交流会 関山街道フォーラム」実行委員会事務局

TEL.080-3322-1966 E-mail: touhoku_kaidou@yahoo.co.jp